

●世界の主な地震

平成 25 年（2013 年）7 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

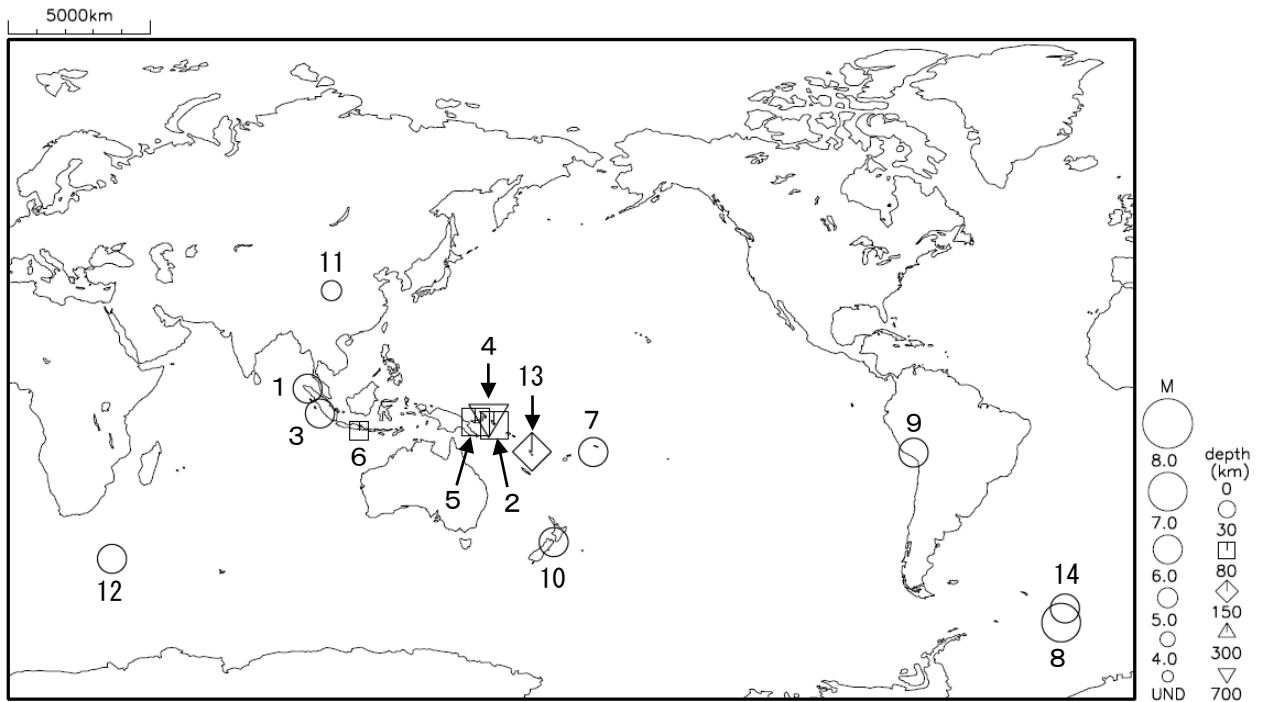


図 1 平成 25 年（2013 年）7 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

- * : 震源要素は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS (QED)による。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素及びマグニチュードは気象庁による。
- ** : 数字は、表 1 の番号に対応する。
- ***: マグニチュードは表 1 の mb（実体波マグニチュード）、Ms（表面波マグニチュード）、Mw（モーメントマグニチュード）のいずれか大きい値を用いて表示している。

表 1 平成 25 年（2013 年）7 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Ms	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北 西	遠 地
1	07月02日16時37分	N 4° 40.5'	E 96° 39.7'	13	5.9	6.2	6.1	インドネシア、スマトラ北部	死者42人以上、負傷者2,500人、行方不明者6人、建物被害20,401棟以上		
2	07月05日02時16分	S 7° 02.3'	E155° 38.6'	72			6.0	ソロモン諸島			
3	07月06日14時05分	S 3° 16.1'	E100° 33.8'	21	5.9	6.3	6.0	インドネシア、スマトラ南部			
4	07月08日03時35分	S 3° 55.3'	E153° 55.2'	386			(7.3)	ソロモン諸島北方		○	○
5	07月08日05時30分	S 6° 00.9'	E149° 43.3'	62			6.6	バブアニューギニア、ニューブリテン		○	
6	07月08日11時13分	S 8° 46.2'	E113° 01.2'	60	5.5		5.7	インドネシア、ジャワ	負傷者1人、建物被害124棟		
7	07月15日22時59分	S15° 26.2'	W173° 01.9'	15	5.4	6.1	5.8	トンガ諸島			
8	07月15日23時03分	S60° 49.9'	W 25° 09.9'	11	6.5	7.1	(7.3)	サウスサンドウィッチ諸島			○
9	07月17日11時37分	S15° 38.1'	W 71° 46.3'	7			6.0	ペルー南部			
10	07月21日14時09分	S41° 42.7'	E174° 26.5'	14			6.5	ニュージーランド、クック海峡			
11	07月22日08時45分	N34° 29.9'	E104° 14.5'	10			5.9	中国、カンスー（甘肅）省	死者95人、負傷者598人		
12	07月22日16時01分	S46° 01.6'	E 34° 51.2'	10	5.8	6.0	6.3	南アフリカ、プリンスエドワード諸島			
13	07月26日16時07分	S15° 21.6'	E167° 35.1'	133			6.1	バヌアツ諸島			
14	07月27日06時32分	S57° 47.3'	W 23° 57.5'	10			6.3	サウスサンドウィッチ諸島			

- ・震源要素、被害状況等は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による（平成 25 年 8 月 1 日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、マグニチュード（Ms の欄に括弧を付して記載）及び Mw の欄が括弧つきで記されている地震のモーメントマグニチュードは気象庁による。また、日本国内の被害状況は総務省消防庁による。
- ・7 月 22 日に発生した中国、甘肅省の地震の被害状況は中国地震局による（平成 25 年 7 月 23 日現在）。
- ・震源時は日本時間 [日本時間＝協定世界時＋9 時間] である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報（NWPTA）（地震・火山月報（防災編）2005 年 5 月号参照）を発表したことを表す。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。

7月8日 ソロモン諸島北方の地震

2013年7月8日03時35分（日本時間、以下同じ）に、ソロモン諸島北方の深さ386kmでMw7.3の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は、インド・オーストラリアプレートの傾斜方向に圧力軸を持つ型であった。

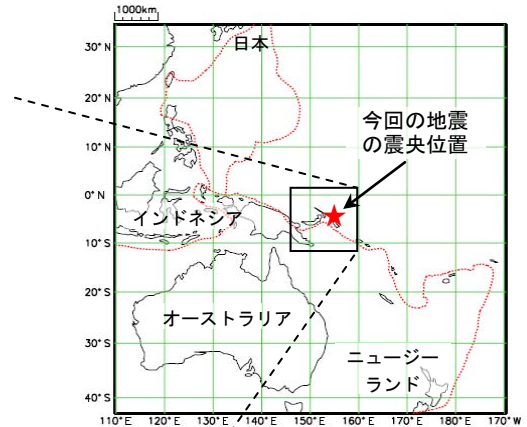
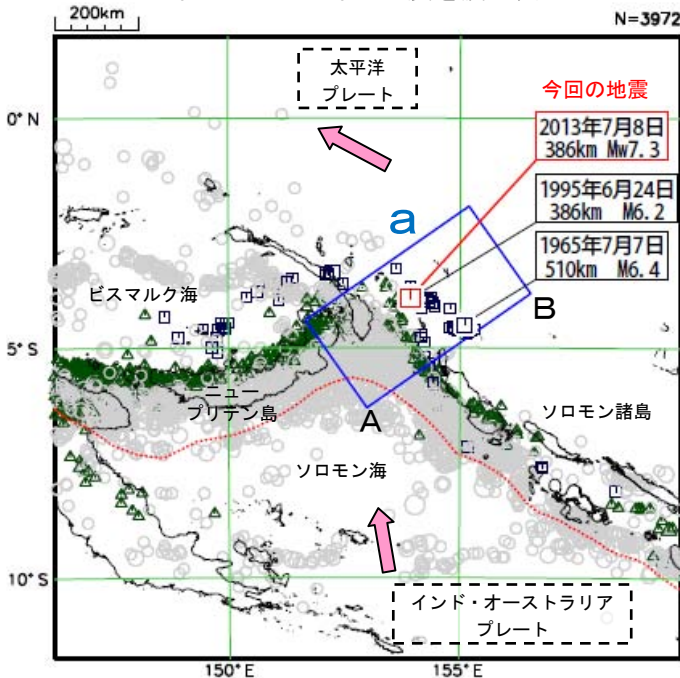
ソロモン諸島北方付近は、インド・オーストラリアプレートが太平洋プレートの下に高角で沈み込んでいるところで、今回の地震はインド・オーストラリアプレート内部で発生した。

気象庁は、この地震により、同日04時02分に遠地震に関する情報（日本国内向け、「この地震による津波の心配はありません」）を発表した。

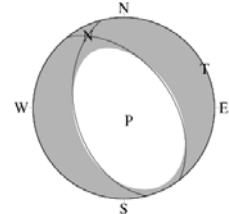
1963年1月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震源周辺の領域（領域b）では、M6.0を超える地震が今回の地震を含め3回発生している。このうち1995年6月24日のM6.2の地震は、今回の地震の震源とほぼ同じ場所で発生し、その発震機構も今回の地震とほぼ同様であった。

震央分布図*

(1963年1月1日～2013年7月31日、
深さ0～700km、M≥5.0)
深さ100km以深の地震を濃く表示

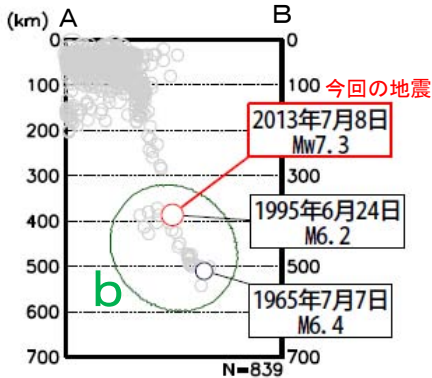


今回の地震の発震機構
(気象庁によるCMT解)

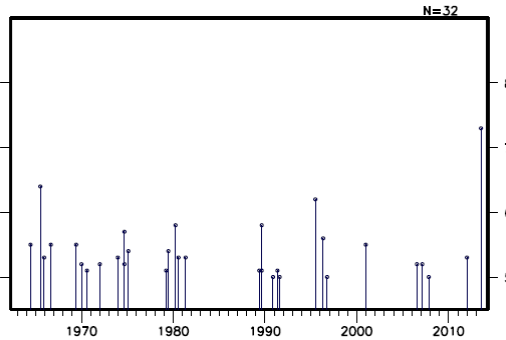


..... プレート境界の位置
← プレートの進行方向

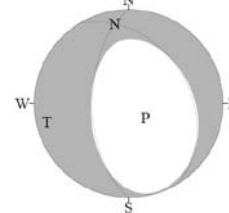
領域aの断面図（A-B投影）*



領域bのM-T図*



1995年6月24日の地震の発震機構
(Global CMT解)



※本資料中、今回の地震のMwは気象庁による。その他の震源要素は米国地質調査所（USGS）による。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）*より引用。

*参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

7月15日 サウスサンドウィッチ諸島の地震

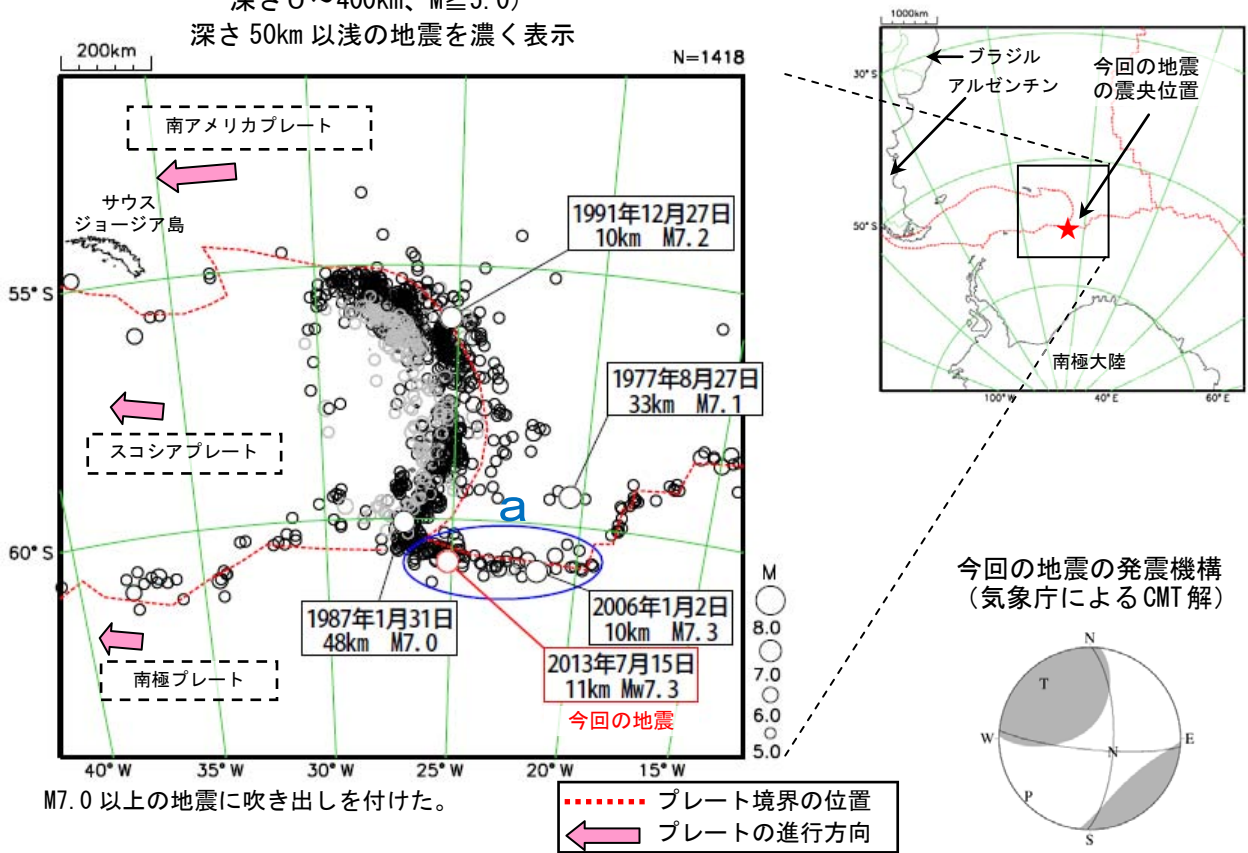
2013年7月15日23時03分（日本時間、以下同じ）に、サウスサンドウィッチ諸島の深さ11kmでMw7.3の地震が発生した。この地震は、南アメリカプレートと南極プレートの境界付近で発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は、北東-南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。

気象庁は、この地震により、同日23時33分に遠地地震に関する情報（日本国内向け、「この地震による日本への津波の影響はありません」）を発表した。

1963年1月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震央周辺の領域（領域a）では、南アメリカプレートと南極プレートの境界に沿ってM6.0を超える地震が時々発生している。このうちM7.0を超えるものは、今回の地震のほか、2006年1月2日に深さ10kmで発生したM7.3の地震で、その発震機構は今回の地震とほぼ同様であった。

震央分布図*

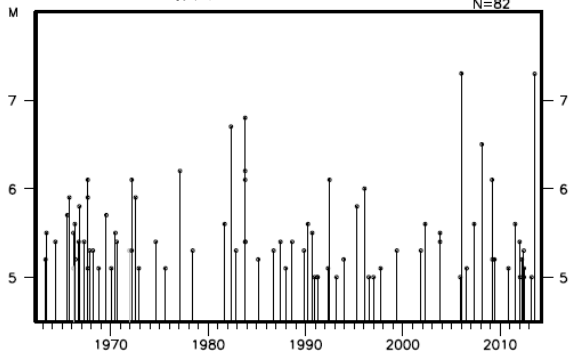
(1963年1月1日～2013年7月31日、
深さ0～400km、M≥5.0)
深さ50km以浅の地震を濃く表示



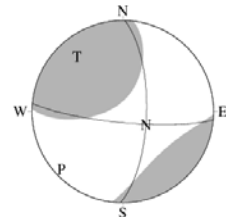
M7.0以上の地震に吹き出しを付けた。

..... プレート境界の位置
← プレートの進行方向

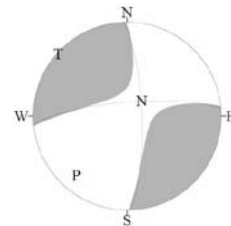
領域aのM-T図*



今回の地震の発震機構
(気象庁によるCMT解)



2006年1月2日の地震の発震機構
(Global CMT解)



※本資料中、今回の地震のMwは気象庁による。その他の震源要素は米国地質調査所（USGS）による。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）*より引用。

*参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.